
農友之聲

三七五減租後的農村

新竹縣芎林鄉芎林村五號　李宏港

社會的不安，往往基因於勞逸不平，貧富不均。所謂勞逸貧富的不均平，就是，富者佔據廣大之土地，而坐享其利；貧者佃農等雖披星戴月，受盡辛苦，結果仍是貧得袋中如洗。這種社會情形，能沒有積極的改變嗎？難道要永久使那些佃農生活犬馬之不如？爲了究正這些流弊，所以便在臺灣施行了三七五減租。促成了臺灣農村的新生。

自三七五減租後，佃農的改善了。如我村中的一個姓吳的，他以前是一個貧佃農，農具只有幾把鋤頭，翻土用的牛是從他人借的，生活水準也非常的低，生活眞是朝不謀夕，但是現在的他，卻與已往兩樣了！他雖然天天還照舊翻土，除草，看水……牛也是他自己的，種子也不必向他人借了，他那粗陋的草房，的確是透進了一道光明。據他說到年底還要造一座瓦的房子，明年他的大孩子可以進小學。他在物質上既然如此，而在精神上當然也得到了快樂，因爲他滿腔的希望，一件件地實現出來。上一次我回家時偶然碰到他，他談及這一次的收穫，大概很好，這也許是三七五減租給他的鼓勵的效果吧！

據說他每當收穫農作品時，並不忘記他的地主，隨時贈送，這是他們純僕的農人的天性。

總之，三七五減租，給農民帶來了一道光明，唯有此法纔能解決社會貧富的不均，才能使人民樂於從農，才能使社會安定，國家康樂。（完）

革除農家起工完工之經費

古例農家分秧完備。就買牲禮粿品。來拜土地公爲完工。若稻刈之初日。亦是買牲禮粿物。崇拜土地公爲起工。將此牲禮添買雜品準備盛況。來招待工人。就是相當破費。粟要糶數百斤來費用。但是分秧。及稻刈之工人。工金比平常時加貴重倍。聘來工作。現農胞個個虧損。忍勞克苦度日。非是利益甚厚。工人之工作工資。一般的皆好價提出。何必再用此消耗巨資。爲國奉公。極力增產。農胞理宜當然之事。現文明之大中華國民。廢古迎新。應時機節省經費。富國裕民。爲國興隆倚馬可待。望貴會極力打破古習慣及其善意時常勸誘是懇。

臺北縣板橋鎮埔墘里中山路一號　徐長瑚

讀者來函

豐年社公鑒：

拜接貴報實感恩德，鄙人九月十日始接貴報（第一卷第四期）如鮒魚之得水，昨日續接第一卷第五期的貴報一時忘了農務之疲勞也，自接到貴報鄙人中午就不午睡，休息的時間亦拋棄了，貴報實可稱農民的樂友，解我們的心愁，甚謝甚謝。

另在貴報所載，農村的風景，農民勞働狀況的畫圖不少，如天的廣實愛護我們農村，可謂無限光榮，我們農村自應照貴社的指導，對增產加強，管社會，爲國家貢獻纔是，以上感謝貴社厚意順祝將來繁榮

再見　陳治評呈

「現農民最不明白就是面積公頃的名稱請貴社詳細解譯公頃化爲甲數（公頃＝〇甲，一甲＝公頃）的簡單算法」

蒙賜回示

本社覆信

陳先生：來信收到了。您已接到我們寄給您的，第四期及第五期「豐年」，甚慰，以後我們會按期再寄送給您。您歡喜看「豐年」，連午睡也犧牲掉，這眞使我們又感激又慚愧！至於「豐年」的內容，我們時時刻刻在求改進，爲農友們服務是我們應負的責任。您肯爲農村努力，增加生產，貢獻於社會與國家好極了！謝謝您。

您所要問的公頃名稱和化爲甲數的簡單算法，現在略答於下：從前我國對於土地面積的計算是絲，毫，（十絲）厘，（十毫）分，（十厘）畝，（十分）畦，（五十畝）頃，（百畝）等，不大正確，現在改爲公頃（一〇〇公畝），公畝（一〇〇平方公尺）平方公尺。

公頃與台甲比較表

1公頃＝1.0310甲
1台甲＝0.9699公頃

茲爲農友們明白我國法定度量制起見，順便補列兩種於下做參考：

1公斤＝1.66台斤
1臺斤＝0.6公斤（6公兩）
1公兩＝2.666台兩
1台兩＝0.375公兩
1公尺＝3.3日尺
1日尺＝0.303公尺
1公尺＝1.1碼（1.0936碼）
1碼＝0.914公尺

豐年社啓

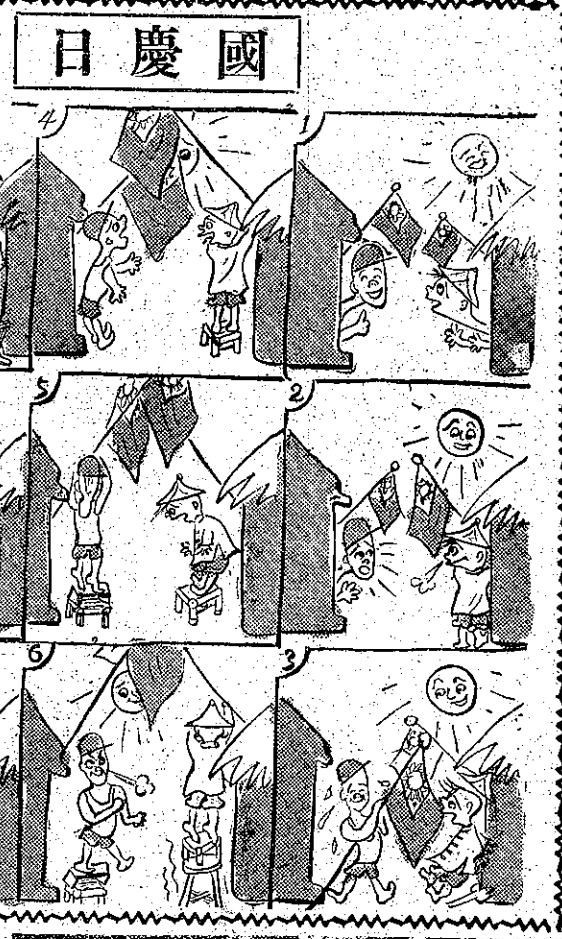
麻豆文旦

—麻豆鎭を訪ねて—

さすが文旦の名産地だけあつて麻豆鎭のどの家の庭にも文旦の五六本が植えてあるのが目につく。近年全島の各地に栽培される樣になつたがやはり本場の麻豆の老樹に出來たものが甘くて風味がいい。文旦の起源は康熙四十年頃郭庭輝氏が大陸より輸入して栽培したのが最初だと云はれてゐる。當時王惠と云ふ人が大罪を犯したが皇帝に文旦を獻上したため無罪になつたと云ふことも云ひ傳へられてゐる。日治時代、郭家の文旦は日本天皇への獻上品として指定されたため、開花から收穫迄嚴重に監督されて郭家自身は一果も自由にすることが出來なかつたさうである。實際風味があつておいしいのは老樹に出來たものであるが、現存してゐるもので二百年も經た老樹は僅か四五十本しかない。この樣な老樹には結實も少く、殆んど自家用として生産されるので市場にはめつたに出ない。いま各地の果物店に出てゐる麻豆文旦は本場ものは少い樣である。名が通つてゐる關係上各地産のものも麻豆文旦と稱してゐるがこれはウソでもなんでもない。臺北で生産しても麻豆文旦はやはり麻豆文旦だからである。

從來麻豆文旦は庭園果樹として栽培されて來て居り、一時その栽培熱は全島的に非常なものであつたが、近年來果實の値安のためその熱もさめ、現在五分地も栽培してゐるものは當地では六名しかゐない。その他は四五十本（約一分地）程度の栽培者が多くそれも殆んど家の周圍に庭園果樹として植えてゐる有樣である。「人が多く踏む程風味がよい」とこの地方では云はれてゐるが、實際この地方では家の周圍に出來たものの風味がよい。したがつて普通の畑で生産したものは風味が落ちると云ふのでこの地方ではあまり歡迎されない。

この地方の文旦の味が特によいのは何か栽培に秘訣があるではないかと尋ねたが殆んど「地質によりますね」と云ふ返事だつた。苗木、植付、肥培管理、病蟲害驅除などについて色々と栽培者から話をきいたが特に變つたところもなかつた。（北投歐陽音）

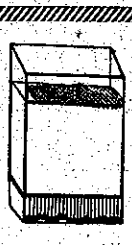

國慶日
周春美畫


寫眞は二百年を經たと云はれる郭家の文旦

風のある日に

マッチを擦る方法

精を出して畑仕事をした後のタバコの一服はこの上も無くウマイものであるが、さて火をつける時になると、風等の爲になやまされて何本マッチをすつても煙草に火がつかない事が多い。上圖の通りマッチのスリ紙を別のマッチ箱から取つて內箱の端に貼ると便利である。擦る時は上圖の通りマッチ軸の頭（即ち藥のある方）を下の方に押し出して、凹みの中で擦ればマッチ一本で火がつき、時間的物質的共に節約になる。



第十頁答案

甘蔗—豆腐—象棋。

HARVEST
豐年
E.C.A./J.C.R.R.-U.S.I.S.